

経営比較分析表（令和元年度決算）

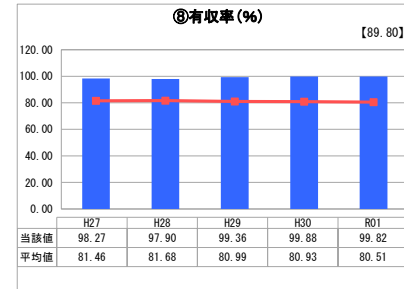
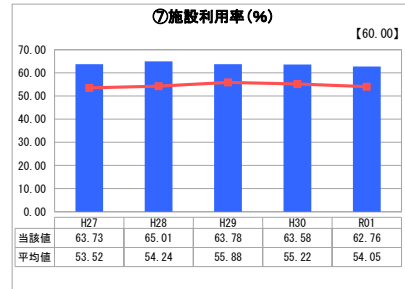
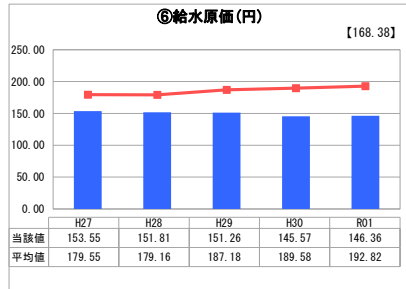
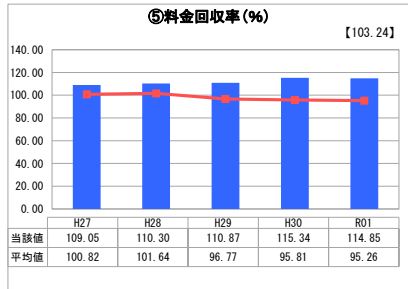
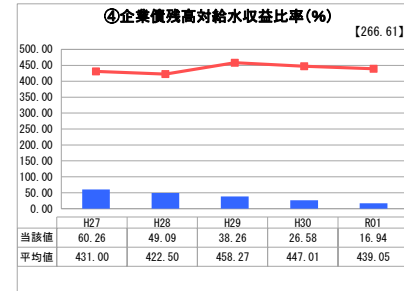
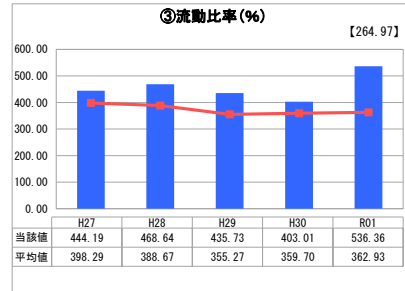
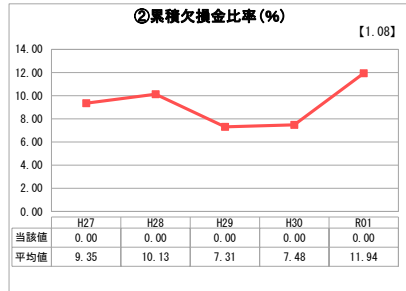
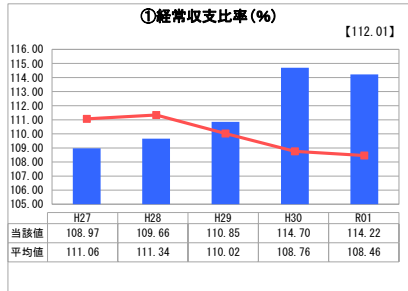
岡山県 里庄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	94.40	94.68	3,465	

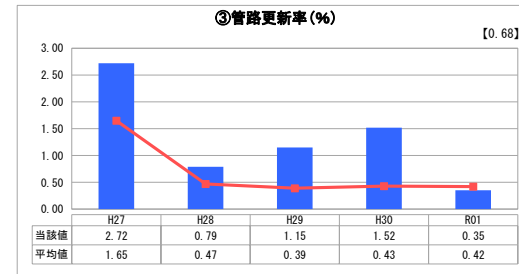
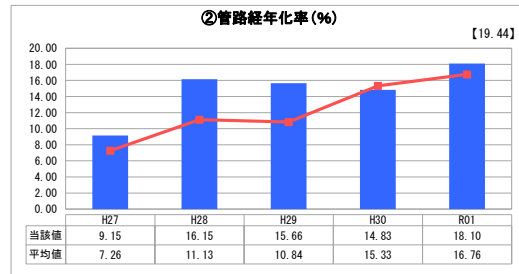
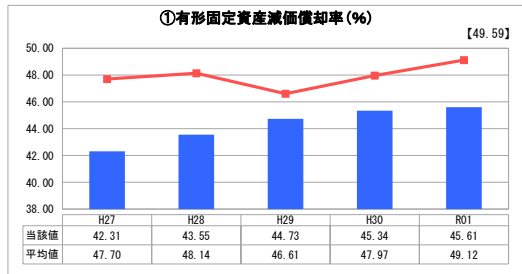
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,205	12.23	916.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,572	12.23	864.43

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

累積欠損金がなく、経常収支比率100%超えを維持できており、経営状況は健全と言える。新たに起債をしていないため、企業債残高対給水収益比率は減少の一途である。管路更新率を上げていくために計画的な老朽管路の更新を行っている。料金回収率は高く、給水原価は低い状態も維持できている。今後も収納率向上・費用削減に努めていく。有収率は安定して高い数値を保っている。引き続き、漏水対策を徹底していく。

2. 老朽化の状況について

毎年、下水道工事や道路整備工事に合わせて老朽管路の更新工事を行っていることから、有形固定資産減価却率は平均値に比べ低くなっていると思われる。未だ管路経年率が高いため、今後も計画的に管路の更新をしていく必要がある。

全体総括

給水開始から40年以上経過している老朽管路の更新が課題となっている。下水道工事や道路整備工事に合わせた効率的な更新工事を今後も継続していく。また、企業債の償還後に大規模団地の布設替工事や配水池の耐震化工事を予定しているため、より一層の経費削減に努め、財源を確保し、計画的に事業を行っていく。